

第116期 報告書

2024.1.1-2024.12.31

株主・投資家のみなさまへ

CONTENTS

トップインタビュー	P.1
コクーンシティ通信	P.3
関係会社のご紹介(カタクラ・クロステクノロジー)	...P.5
事業部門の概況	P.6
会社概要・株式の状況	 裏表紙



代表取締役社長
上 甲 亮 祐

トップインタビュー

2024年度業績概況

2024年度の連結決算は、医薬品事業における薬価改定の影響で減収となりましたが、不動産事業の好調により、営業利益は増益となりました。

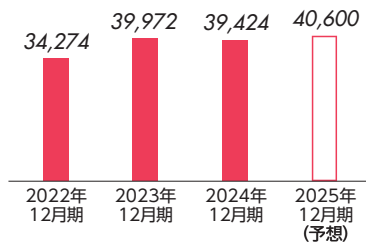
不動産事業では、コクーンシティ(さいたま新都心)において、積極的なテナント入替や環境整備を実施し、集客力および施設の鮮度を維持・向上させた結果、業績が好調に推移しました。一方、医薬品事業は、毎年の薬価改定を含む医療費抑制政策の影響で厳しい事業環境が続いています。これに対応し、2024年には希望退職者の募集や全国の支店・営業所の廃止など、大規模な組織改革を実施しました。今後も事業の効率化を進めるとともに、循環器領域にとどまらず、幅広い医薬品の開発を推進してまいります。

今後は、不採算事業の構造改革に加え、企業価値の向上に向けた施策を実行します。不動産事業では、建築費の高騰が続く中、既存施設の適正な管理を徹底し、価値

▶▶ 連結財務データ

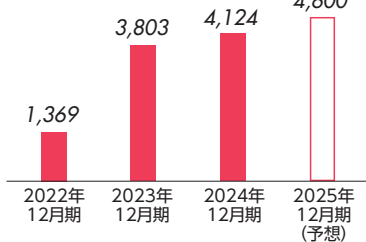
売上高

(百万円)



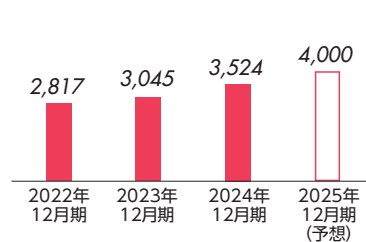
営業利益

(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



の最大化を図るとともに、グループ保有不動産も含め新規開発を検討します。また、成長が期待される機能性繊維分野では、海外市場の開拓と並行して、生産能力の強化を進めます。さらに、M&A等のインオーガニック戦略を推進し、既存事業とのシナジーに加え、事業成長の観点からも有望な候補先を探索してまいります。

○株主還元の見直しについて

当社は、2024年11月に株主還元方針を変更しました。業績や将来の事業展開を踏まえ、持続的な成長と企業価値の向上を目指して、利益の還元を強化するとともに、資本効率を向上させるため、総還元性向を従来の30%から60%へと大幅に引き上げました。また、2024年8月には自己株式を取得しました。

今後も株主の皆様へ長期的に支持される企業を目指し、株主還元については継続的に検討してまいります。

○持続的な成長を目指して

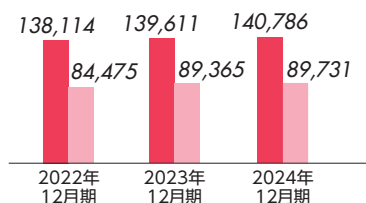
当社では、人材を競争力の源泉と位置づけ、年齢・性別・経歴を問わず、能力・専門性・人格を重視した採用・育成を進めています。2025年は新たな人事制度を導入し、企業理念に基づく目標や課題の設定、公正な評価・処遇の実現を通じて、従業員のモチベーション向上と働きがいの創出を図ります。

また、企業経営の基盤強化にも継続的に取り組んでいます。ガバナンス面では、「IT企画会議」を新設し、グループ全体のIT管理・投資・DX推進を統括しています。リスク管理では、グループ全体でBCPマニュアルの更新や防災研修を実施し、サイバーセキュリティリスクに関する従業員教育や啓発活動を強化しています。

今後も、全社一丸となって企業価値の向上に努めてまいります。引き続き、株主の皆様の、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

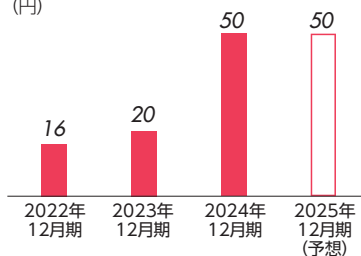
総資産／純資産

(百万円)



配当金

(円)



ミッション

昨日よりもっと、
なくてはならない存在へ。

わたしたちの価値観

積み重ねを、楽しもう。

2期連続で過去最高売上を更新



2024年のコクーンシティは、エリア内での存在感を高め、施設の魅力を一層向上させるためにリニューアルを実施しました。また、リアル店舗ならではの体験型イベントの開催や、地域のお客様にコクーンシティとの“つながり”を感じていただけるさまざまな企画を展開しました。

これらの取り組みの結果、2024年8月期のコクーンシティのテナント売上高は、429億円となり、2期連続で過去最高を更新しました。

コクーンシティは開業10周年を迎えます

1916年の大宮製糸場開設以来、当社はさいたま新都心エリアで、時代とともに私たちを変えながら、さまざまな事業を展開してきました。2000年の“まちびらき”を契機に、急速な発展を遂げた「さいたま新都心」。2004年にショッピングセンター「コクーン新都心」が開業し、2015年には「コクーンシティ」へと生まれ変わりました。

「訪れるたびに、驚きがある街。」をコンセプトに開業したコクーンシティは、地域の皆様、ご来館されるお客様、テナントの皆様、そして協力会社の方々に支えられ、2025年4月に開業10周年を迎えます。2025年のアニバーサリーイヤーでは、これまでの感謝を込めて、年間を通してさまざまなイベントやキャンペーンを開催いたします。

コクーンシティは、これからもより多くのお客様にご利用いただける施設を目指し、これまでにない新たな発見や、ここにしかない体験価値を提供できるように進化してまいります。



特設サイトはこちら

https://www.cocoocity.jp/10th_anniversary/

2025年4月18日より「コクーンシティ 10周年誕生祭」を開催!

■ 特別企画やイベントが盛りだくさん

コクーンシティ 誕生祭

2025 4.18 FRI - 5.6 TUE



詳細情報は
特設サイトにて
近日公開予定

4月18日からゴールデンウィークにかけて、アニバーサリーイヤーの幕開けを飾る「コクーンシティ 10周年誕生祭」を開催。

お客様とともに誕生祭を祝うため、地元出身有名人によるトークイベントや、特別限定商品の販売、コクーンシティ限定メニューの提供など、10周年ならではの特別な企画を多数ご用意いたします。

■ コクーン2フードコートが大幅リニューアル(4月下旬予定)



コクーン2・3階のフードコートは、開業以来、初めての大幅なリニューアルをいたします。

座席数を増やし、さまざまな食事シーンに対応するため座席仕様を見直すことで、より多くのお客様が快適にご利用いただける空間に進化いたします。また、小さなお子様連れのお客様に安心してご利用いただけるファミリーゾーン「こどもダイニング」を新たに設置いたします。



コクーンシティ
仁木支配人

コクーンシティ支配人からのメッセージ

コクーンシティは、2025年4月に開業10周年を迎えます。地域の皆様やお客様をはじめ、コクーンシティの運営に携わるすべての皆様に、心より感謝いたします。

コクーンシティが立地するさいたま新都心は、生活インフラが充実しているだけでなく、さいたまスーパーアリーナをはじめとする大型集客施設があり、近隣はもちろん、広域からも多くの人々が訪れる活気あふれるエリアです。近年では、周辺の大規模マンション開発が進み、ファミリー層を中心とする新しい住民の方々も増えており、さらなる発展を遂げています。

そのような環境の中で、コクーンシティへの期待も一層高まっていると感じています。今後とも、変化する時代やニーズを的確に捉えながら、地域の皆様とともに街を育み、盛り上げる活動を積極的に推進してまいります。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

関係会社のご紹介(カタクラ・クロステクノロジー)



※ AI (ChatGPT) が生成したイメージ画

会社名：株式会社カタクラ・クロステクノロジー

事業内容：IT サービス (SI事業、SES事業、インフラ事業)

事例① 生産管理システム構築

当社グループの機能性繊維メーカーである株式会社ニチビにおいて、生産管理システムの開発を進めています。現行システムの問題点や課題を詳細かつ丁寧にヒアリングし、業種特有の要件に対応するため、外部のパッケージソフトを使用せず、カタクラ・クロステクノロジーがゼロベースでシステムを開発することになりました。

この取り組みは、ニチビの生産性向上に貢献する重要なプロジェクトとなっています。

ニチビ担当者の声

現在、生産管理には複数のシステムを使用していますが、それらの連携が十分ではないため、業務が煩雑化し、人為的なミスの原因となっていました。IT分野に精通したグループ会社から情報共有や助言を受けるだけでなく、システム開発そのものを任せられることは、大きな安心感につながります。完成が楽しみです。



当社の連結子会社であるカタクラ・クロステクノロジーは、2023年3月に当社グループに加われました。同社は、金融系システムの構築を通じて培った高度な品質管理ならびにセキュリティ管理に関する技術を持ち、多数の経験豊富なエンジニアを擁しています。

IT分野は今後も需要の拡大が見込まれる成長領域であり、同社のIT技術と当社グループの経営資源やノウハウを融合させることで、既存事業の拡大に加え、新たな事業領域の創出を目指しています。

今回は、グループ内での具体的な活動事例をご紹介します。

事例② グループのDX化に向けた定例会議

グループ全体のIT関連課題を解決するため、2023年11月に仮設した「IT企画会議」は、2024年12月より正式な会議体となり、情報システムの投資・運用や情報セキュリティに関する重要案件の方針決定を担うことになりました。

この会議は毎月開催しており、カタクラ・クロステクノロジーは当初からオブザーバーとして参加していますが、専門的な助言を提供し、中心的な役割を担っています。現在では、グループの枠を超えて、その知見を事業推進に活用する場となっています。

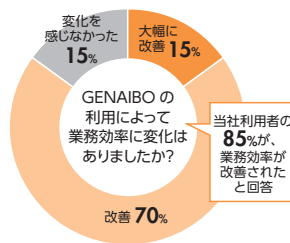


事例③ 生成AIでカタクラグループの業務効率が向上

業務効率化と社内のITリテラシー向上を目的に、生成AIを安全に利用するための独自のシステム「GENAIBO」を開発し、当社および一部の関係会社に導入しました。

当社グループは、リスクを適切に評価・管理しつつ、最新技術の活用を推進し、競争力を高めてまいります。

導入後の社内アンケート結果



事業部門の概況

不動産事業



売上高 **11,139**百万円
(前期比 +2.8%)

営業利益 **4,269**百万円
(前期比 +7.1%)

ショッピングセンターの運営、不動産賃貸

祖業である製糸業の縮小に伴い、遊休地となった全国各地の工場跡地を活用し、商業施設、オフィス、住宅等の不動産賃貸事業を行っています。中核不動産は、JRさいたま新都心駅に直結する社有地約147,000㎡で展開する「コクーンシティ」です。「訪れるたびに、驚きがある街。」というコンセプトのもと、時代のニーズを捉え、柔軟に進化する街づくりを自社で推進しています。

医薬品事業



売上高 **12,403**百万円
(前期比 △5.0%)

営業利益 **208**百万円
(前期比 +3.1%)

医療用医薬品の製造・販売

連結子会社である「トーアエイヨー株式会社」にて医薬品の製造・販売を行っています。循環器領域、特に「虚血性心疾患」、「不整脈」、「心不全」の治療薬の製造・販売を行うとともに、この分野で培った強みと専門性を活かし、周辺領域における新薬や後発品の研究開発にも取り組んでいます。

機械関連事業



売上高 **6,147**百万円
(前期比 +2.9%)

営業利益 **88**百万円
(前期は83百万円の損失)

消防自動車・防災機器の製造・販売

連結子会社である「日本機械工業株式会社」にて、消防自動車や消防関連機器の製造・販売を行っています。設計から加工、組み立てまで一貫した生産体制を強みに、安全性・機動性・操作性を追求した製品を提供しています。

繊維事業



売上高 **6,981**百万円
(前期比 △6.7%)

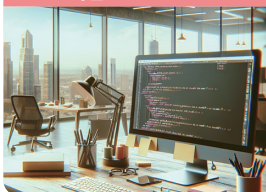
営業利益 **652**百万円
(前期比 △7.6%)

機能性繊維の製造・販売、衣料品等の企画・販売、ブランドライセンス業

連結子会社である「株式会社ニチビ」が展開する機能性繊維部門では、水溶性繊維や耐熱性繊維の製造・販売を行っており、アパレル、産業用資材、半導体製造、航空機など幅広い産業分野で利用されています。

また、連結子会社である「オグランジャパン株式会社」が展開する実用衣料部門では、製糸業のノウハウを受け継ぎ、インナーやレグウェア等の製造・販売を行っています。

その他



売上高 **2,751**百万円
(前期比 +4.8%)

営業利益 **119**百万円
(前期比 △17.6%)

ビル管理サービス、ITサービス、印刷紙器の製造・販売、訪花昆虫の販売等

ビル管理サービス業では、快適な空間の提供を目指して、商業施設・オフィスの清掃や緑地管理を通じて、職場や居住空間の環境整備を行っています。また、ITサービス業では、システム開発やシステムエンジニアリングサービスなどを提供しています。

※ AI (ChatGPT) が生成したイメージ画

会社概要・株式の状況

会社概要

通称社名 カタクラ
商号 片倉工業株式会社
本社所在地 東京都中央区明石町6番4号
会社設立 1920年3月23日
資本金 18億1,729万5,000円(2024年12月31日現在)
従業員 102名(2024年12月31日現在)

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	定時株主総会の議決権および 期末配当については毎年12月31日
単元株式数	100株
公告方法	当社ホームページ内の下記アドレスに掲載 します。 https://www.katakura.co.jp/ir/ public/ ※やむを得ない事由により、電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に掲載 いたします。
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先 お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324(フリーダイヤル)
特別口座に関する 事務取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店

ホームページのご案内

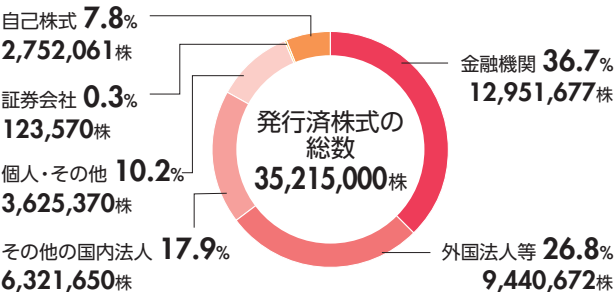
当社ホームページでは、株主・投資家の皆様を
はじめとするステークホルダーの皆様に、適切・
適切に情報を開示しております。
<https://www.katakura.co.jp/>



株式の状況 (2024年12月31日現在)

発行可能株式総数 140,000,000株
発行済株式の総数 35,215,000株
株主数 16,946名

所有者別分布状況 (2024年12月31日現在)



株主優待情報

当社は株主優待制度を採用しています。
詳細はホームページ(<https://www.katakura.co.jp/ir/stock/compliments/>)をご覧ください。



「お問い合わせ・よくあるご質問」のご案内

「株式情報」「株主優待」に関するご質問等、株主
様からのご関心の高いご質問につきまして、回
答を掲載しております。ぜひご利用ください。
<https://www.katakura.co.jp/ir/irinquiry/>



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を
使用して印刷しています。

